

チベット自治区の概況 2022年

もくじ

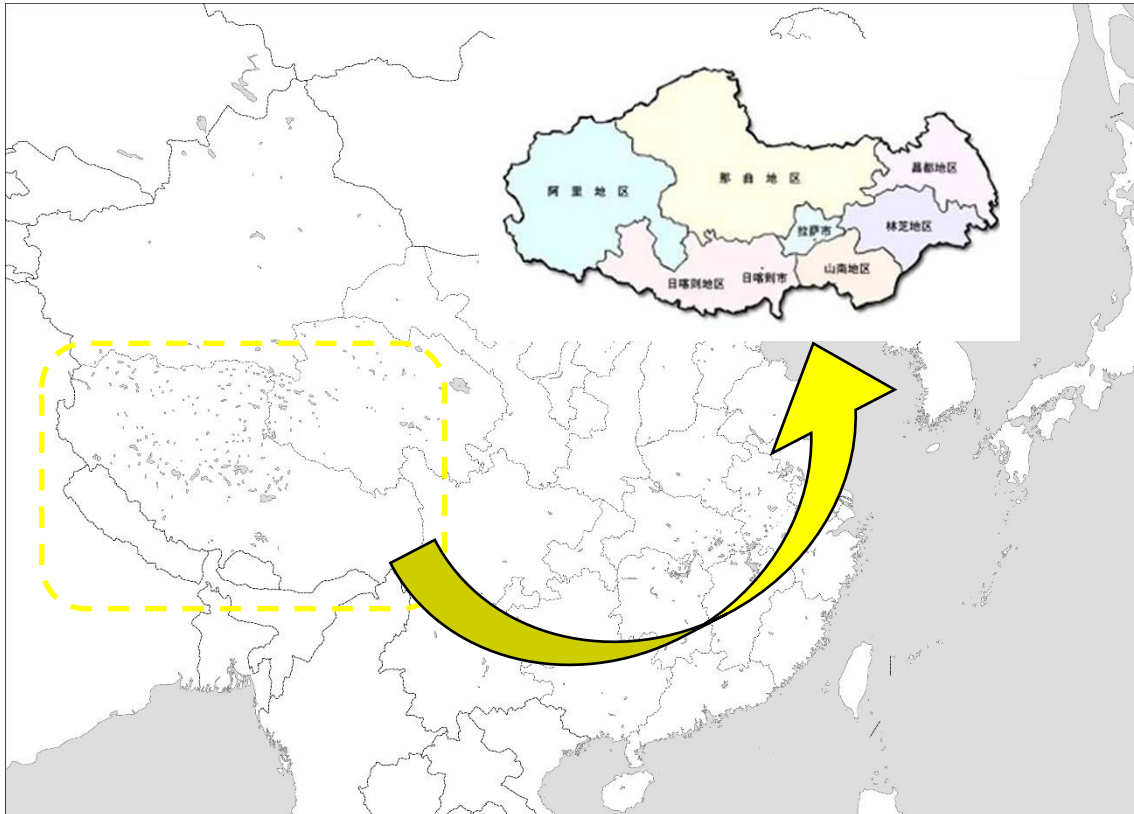
(1) 基本データ.....	- 1 -
(2) 経済概況	- 2 -
(3) その他情報.....	- 4 -
(4) チベット自治区指導者の略歴	- 8 -



全ての写真の出典は中国チベット旅游网 <https://www.tibet.cn/tibet/>

(1) 基本データ

◆チベット自治区について



首府	拉萨（ラサ）市 <略称は「藏」>
面積	120 万 2200 km ²
人口	364 万人（ラサ市は 58 万人）
地級行政区	7（県級は 74）
書記	王君正（おう・くんせい） ※略歴は後述
自治区主席	麅金海（げん・きんかい） ※略歴は後述

<地理・気候>

チベット高原を含めた広大な高原と、南はヒマラヤ山脈、北には崑崙山脈といった世界最高峰の山系に囲まれている。省府のラサ市ですら海拔高度 3300 メートルを超えており、高地性の気候で、酸素も薄い。北部は標高の高い山岳部であり、植生も弱く、農業も放牧が中心。チベット高原より南側は高度も 1200 メートルと低く、降雨も多い。

<歴史>

中央アジアの遊牧民族である羌族などが定住したと言われ、7世紀にチベット高原を統一した吐蕃（トルファン）王朝が都をラサに定め、周辺国と覇を競った。多くの民族が交わる中でサンスクリット語による仏經典の編集などが進み、やがてチベット仏教として正式な国家宗教となった。13世紀にはモンゴル帝国が侵攻したが、14世紀には一時的に独立。多くの有力者と宗教も背景とした内乱が続き、時の支配者が中国・明への朝貢外交を続ける中で、17世紀半ばのダライラマ政権の成立を迎える。1645年にはダライラマ5世がポタラ宮の建設を始めて、1695年に完成する。その後はダライラマ政権を支えたグシ・ハン一族が、清朝の康熙帝・雍正帝によるチベット高原の分割の枠組みで消えていったが、20世紀初頭に清朝が崩壊する中でその支配効力もなくなり、ダライラマ政権が独立の動きを強めた。第一次世界大戦後にモンゴルの共産化を警戒した英国がチベットを支援するものの、またも内乱で混乱するチベットは第二次世界大戦も過ぎ去り、1951年の中国政府の駐留に至る。チベット動乱（1956年）は、新たな入植者である漢民族と以前から暮らす遊牧民の激突で、中国は大規模な軍事的解決を図ったとされている。ダライラマ14世はインドへ亡命し、チベット亡命政府を打ち立てている。

（２）経済概況¹

2021年、チベット自治区の域内総生産（GRP）は2,080億元（前年比+9.3%）、一人当たり平均のGRPは、56,831元である。第2次、第3次産業がそのほとんどを占める。

項目	チベット自治区 ※カッコ内は前年比
域内総生産 (GRP)	2,080.1億元（+9.3%） 第1次産業：164.1億元（+8.9%） 第2次産業：757.3億元（▲5.2%） 第3次産業：1158.8億元（+21.5%）
1人当たりGRP	56,831元（+8.6%）
平均可処分所得	都市住民：46,503元（+12.9%） 農村住民：16,935元（+16%）
実質外資利用額	発表なし

¹ チベット自治区の公式サイトと「2022年版チベット統計年鑑」などを基に作成

輸出入総額	6 億 2,276 万ドル (+204%) 輸出総額 : 3 億 4,896 万ドル (+186%) 輸入総額 : 2 億 7,380 万ドル (+225%)
貨物取扱量	150 億 8,700 万トンキロ ² (▲4.7%)
旅客輸送量	95.32 万人キロ (+12%)

◆交通インフラ

鉄道 : 青藏鉄路・・・2006 年に全線が開通した。北京など中国主要都市からチベット自治区の首府ラサまでを結ぶ鉄道路線。青海省西寧からラサまで 1956 キロメートル、西寧からゴルムドまで 814 キロメートルを 1950 年代から 80 年代にかけて第 1 期工事として整備し、その後はゴルムドからラサまで 1142 キロメートルの区間を 20 余年かけて完成させた。最高地点は海拔 5072 メートルで、物流の手段として活躍するのみならず、雄大な景色を楽しむ世界的にも知られる鉄道路線となっている。

道路 : 新藏公路 (G219)・・・新疆ウイグル自治区カシュガル地区・カルギリクからチベット自治区のラサを結ぶ道路。全長 2143 キロメートルで、5000 メートル以上の高山を 5 カ所、氷雪に覆われる峠を 16 カ所、44 の河川を超えるという世界でも最も険しいと言われる道路。

青藏公路・・・青海省とチベット自治区を結ぶ道路。平均高度は 4000 メートル以上で、多数の高山を越える、新藏公路よりもさらに険しい道。チベットを支える物流の動脈であり、1950 年に人民解放軍が建設したのが始まりで、2003 年に完成を見ている。

川藏公路 (G318)・・・四川省成都市からチベット自治区を結ぶ全長 4600 キロメートルの道路。

空港 : ラサクンガ空港 (LXA 拉萨贡嘎国际机场)・・・地名をとってゴンカル空港とも呼ばれる。3500 メートルという世界有数の高地にあり、ラサ市内からは約 100 キロメートル離れている。ボーイング 747 などの中～大型機の運用が可能で、ネパール・カトマンズを結ぶ国際線のほか、国内 7 社との定期便が運行されている。
チャムドバンダ空港 (BPX 昌都邦达机场)・・・1955 年に建設された空港で海拔高度 4300 メートル以上という世界第 2 位の高地にある空港。空気が薄

² 物流用語。トンキロとは、貨物の輸送量を表す単位のこと、貨物の重量 (トン数) にそれぞれの貨物の輸送距離 (キロメートル) を乗じて算出する。

く、飛行に支障が出ることから滑走路は 5500 メートルという世界最長を誇る。国内 2 路線などが就航している。

ニンティ空港（LZY 林芝米林机场）・・・チベット自治区最南部に位置する空港で、天候の変化が激しい 4000 メートル級の山地に囲まれた峡谷で離着陸するため、世界で最も飛行が難しい空港と言われる。1 年のうちで飛行に適した天気は僅か 100 日程度と言われ、成都を結ぶ便などが運用されている。

ガリ空港（NGQ 阿里昆莎机场）・・・チベット自治区西端にある軍民両用の空港で、2010 年に開港。インド国境にあり、4500 メートルの滑走路では大型輸送機の発着が可能。民用では、ラサと結ぶ路線が主力。

◆日系企業の進出状況

日系企業の進出は確認できない。外資企業（香港・マカオ・台湾を含む）は、6 社の登記が存在する模様。外資企業のすべての資産の合計は 147 億円としている。

◆チベット自治区に本社がある中国の有名企業³

<西藏冰川>

海拔 5100 メートルのチベット高原を水源とした天然水のメーカー。ミネラルウォーターを中国全土に出荷している。

<華宝香精 HUABAO>

1996 年に香港の華宝国際株式グループが設立したタバコフレーバー、食品用フレーバーなどを生産するメーカー。

<海思科 Haisco>

2000 年に設立した医薬品メーカー。内臓用の生薬などを生産。

（3）その他情報

1. 日本の友好都市・姉妹都市

日本の地方自治体と姉妹都市提携を結ぶチベット自治区内の都市はありません。

³ 中国各地のご当地ブランドを選出するサイトのチベット十大ブランドページより抜粋。
https://www.cnpp.cn/china/list_3334.html

2. チベット自治区の名所（写真はインターネットから引用）



ポタラ宮（布達拉宮）

ラサ市の中心にあるチベット自治区の世界遺産。7世紀にチベット高原を統一した吐蕃（トルファン）王朝が都をラサに定め、王宮を設けたのが始まり。17世紀にダライラマ 5世が現在の建築物の造作をはじめ、半世紀かけて完成させた。海拔 3700メートルにある巨大宮殿はチベットの歴史や文化、宗教的な特色を持つことから「高原の明珠」とも呼ばれる。1994年に世界文化遺産に登録された。



大昭寺

チベット仏教の寺院で、ラサでは最も有名なお寺。市の中心部にあり、1350年の歴史を持つという。最初期の寺の名称が「惹薩」と呼ばれたことから、ラサ（拉薩）の地名の語源となった。ポタラ宮の世界遺産登録により、チベット仏教の関連施設という位置づけで同寺も遺産として登録されている。



納木錯湖（ナムツ湖）

ラサから北に約 250 キロ、青唐古拉山のふもとにあり、チベット自治区第 2 の湖で、中国では三番目の大きさを誇る淡水湖。また、世界で最も高い位置にある淡水湖でもある。長方形に近く、東西 7 キロ、南北 3 キロで湖水面積は 1920 平方キロメートル。人の手の入らない大自然の中にある湖は、その透明度の高さはもちろんのこと、四季折々に見せる姿に旅人は圧倒されるという。ただし、険しい山岳地帯で天候の急変や積雪などの障害も多く、その湖にたどり着くには大変な労力がある。



ナムチャ・バルワ（南迦巴瓦峰）

海拔 7782 メートルで世界 28 位の高峰。チベット仏教の最古の聖典の聖地とされ「チベットの父」とも呼ばれる。

雅魯藏布大峽谷といわれる観光名所から望むことができる。



ツァンダ土林（札達土林）

ガリ地区のツァンダ県にある独特の地形。

土林は、古代の大きな湖が造山運動により隆起し、湖底の堆積層が現れたもの。

3. チベット自治区の名物料理（写真はインターネットから引用）

チベットは高地のため、食材が豊富でないこともあり、調理方法は比較的単純である。植生の関係から野菜や果物なども限られている。肉類はヤクや羊、ヤギであり、それらから作られる生乳、バター、チーズなどの乳製品も主食である。また、宗教的な理由から、馬やロバ、犬、鳥類、魚類、甲殻類、貝類なども食べることはない。



糌粑（ツアンパ）

麦を焦がして固めたもの。チベットの主食で、大麦の一種であるハダカオオムギを粉末状にし、ジャ（バター茶）を少量加えて団子状にして蒸して作る。



八列（パレ）

要はパンのこと。中にヤクの肉を詰めたりチーズを詰めるなど地域によってバリエーションも豊富。見た目もホットケーキのような円形のものもある。



酥油茶（スーヨウチャ）

バター茶のこと。ヤクの乳を原料にバターを作り、岩塩と混ぜ合わせる。スープのような味わい。

(5) チベット自治区指導者の略歴

王君正（おう・くんせい）書記



生年月日 : 1963年5月(60歳)
出身地 : 山東省臨沂市
最終学歴 : 山東大学科学社会主義専攻
人民大学科学社会主義修士
民族 : 漢族
1987年共産党入党

<主な略歴>

労働部弁口庁、雲南省弁口庁処長級秘書、昆明市官渡区委員会書記、昆明市副書記組織部長、同宣伝部長、麗江市市長、書記、湖北省副省長、襄陽市書記、吉林省長春市書記、新疆ウイグル自治区常務委員、新疆精算建設兵団党書記（正部長級）、中国新建集团董事长などを経て現職。

厳金海（げん・きんかい）自治区主席



生年月日 : 1962年3月(60歳)
出身地 : 青海省民和市
最終学歴 : 青海民族学院中国語文学専攻
民族 : チベット族
1983年共産党入党

<主な略歴>

青海省黄南州民族師範学校幹部、黄南州教育局幹部、黄南州党委員会弁口室主任、同秘書長、玉樹州委員会副書記、海北州委州長、書記、青海省副省長、チベット自治区副書記、ラサ市書記などを経て現職